

**IMGtoDigi**  
図面の OCR を高精度で行います

**ヤマハ発動機株式会社 様**



導入事例

寸法線の認識を行い  
数値取得/寸法線除去

① オブジェクト (ビュー) の画像切り出し  
② 記号位置/個数確認  
例: △の記号を認識

表形式データを Excel へ出力

傾いた値を認識可能

生産部門での公差の値を Excel へ転記

品番/図番を認識して  
図面管理システム登録や  
ファイル名付与

DATUM	LOCATION	備考
A	2-B	ベアリング座
B	3-F	歯車歯面
C	5-G	軸付アノック
D	12-H	軸材基準
E	8-C	ボンプ穴

Case Study

使用CADやサイズが異なる図面データの押印欄を検出。  
押印システムと連携してスタンプ自動付与を実現。

関連ソリューション

**TIFF 押印座標取得モジュール / IMGtoDigi**

ご利用ユーザー様情報

**ヤマハ発動機株式会社**

所在地：静岡県磐田市新貝2500  
事業内容：二輪車、マリン製品、産業用機械・ロボット、  
産業用無人ヘリコプター、ROV (レクリエーション・  
オフハイウェイ・ビークル)、汎用エンジン、プール、  
車いす等の製造および販売

図面からデジタル化を行う処理イメージ



お問い合わせ

**YSS** 株式会社 **ワイ・エス・イス**

※本広告に記載されている会社名・商品名・ロゴ・アイコン等は、  
各社様の商標及び登録商標である場合があります。

〒210-0007  
神奈川県川崎市川崎区駅前本町 3-1 NMF 川崎東口ビル 8F  
TEL : 044-211-9332 FAX : 044-211-9331  
E-mail : eigyo@iothe.co.jp URL : https://www.iothe.co.jp/

# TIFF 図面 スタンプ自動付与 事例

## 課題

- TIFFで保管されている図面内の特定箇所へ、スタンプを自動付与する仕組みを構築し運用。
- 使用CADの変更や、スキャンデータ、縮尺が異なるデータが投入された際、スタンプの位置がずれてしまうため、押印位置の調整が課題となっていた。

## 解決

- YSS独自の画像解析技術により、下記に起因する押印箇所のずれに対応。
  - 使用CADによる図枠位置の違い
  - スキャンデータによる位置ずれ
  - 印刷時サイズ変更等による縮尺の違い
- 押印欄を認識、座標を取得する事により、自動押印位置の調整が可能となった。

既存の押印システムと連携し、複数のCAD、縮尺の異なる図面へのスタンプ自動付与を実現。

# IMGtoDigi 概要

## 対象データに合わせたチューニング

- 様々なCAD (CATIA/Creo/NX/AutoCAD等)から出力されたPDF/TIFFの文字/記号認識を実現します。独自開発CADにも対応可能です。
- お客様専用かつ特定業務専用のソフトを提供する形態です。対象データに合わせたチューニングで精度を向上します。

## 業務に合わせた出力形式

- 文字認識後のデータを、業務に合わせた形式で出力します。どのような業務・使用方法を想定されているか、ご相談ください。

## ▼業務適用例

- 手作業で作成している作業指示書、規格表作成を効率化したい
  - Excel ファイルの表形式で出力
- 図面に記載された図番、品名、部品表情報をデータベース化したい
  - CSV ファイルで出力
- 図枠内の図番、品番、日付を取得して、ファイル名に付与したい
  - 図面ファイル名自動変更プログラムを提供 … など

## 処理イメージ

